

# 市民と議会を



第4回  
三原市議会  
議会報告会

開催しました！

# つなぐ意見交換会



まず始めに、全体で、議会の仕組みと役割について、説明させていただきました。  
その後、3つの常任委員会ごとに分かれて、各テーマに沿って意見交換を行いました。

平成30年1月28日(日)に、三原市議会として、第4回目の議会報告会を行いました。  
雪が舞う寒い朝で、心配しましたが、107人の方々が、市議会仮庁舎に集まってくださいました。

## 全体質疑

【参加者より】議会へ請願したくても議員が紹介議員を受けてくれない。事務局で受け付けてほしい。

【議会より】条例、法律で決まっているので、議員なしにすることはできない。

【参加者より】議会基本条例には「議会が保有する情報を自由に閲覧できるようにする」とある。どこまで進んでいるのか。

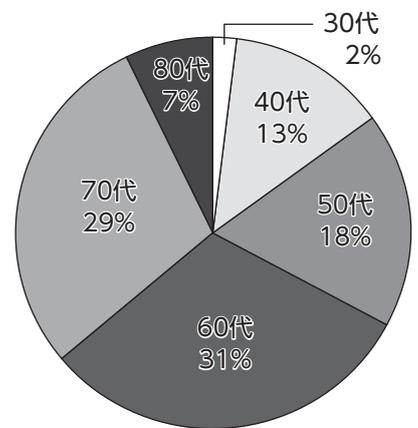
【議会より】できるだけ早く取り組んでいきたい。

【参加者より】駅前へ図書館を作ることが広報みはらに出たが、「広場を残すか、図書館を作るか」と市民にきいてほしかった。今、広場で子ども達が遊んでいて、建物がなくても、触れ合う、話ができる場になっている。意見交換会というなら、もっと根本から変えてほしい。

【議会より】市民と特別委員会の直接対話ができているが、議員が市民意見を反映しながら特別委員会では合意を進めてきた。

【参加者より】意見交換会を、中山間地域と市中心部とで、行ってほしい。

## 参加者の年代構成 (アンケート回答者)



議会だよりでの報告は、概要のみとさせていただきます。この他にたくさんいただいたご意見やアンケート結果は、ホームページに掲載していく予定です。

<http://www.city.mihara.hiroshima.jp/site/gikai/list330-1056.html>



三原市議会ホームページ  
QRコード

①公共施設マネジメント

～公共施設の新しい未来を一緒に作る～

駅前東館跡地に整備予定の図書館について	
参加者より	議会より
近年の図書館ニーズは、レファレンスサービスの充実や子育て支援、居場所づくりなど様々な役割があり、それを考慮してほしい。	これからのあり方については、いただいた意見を参考にしていく。
図書館は指定管理前提でなく、市民の利便性を考え、意見を聞く場を設けるべき。	意見として伺い、駅前東館跡地活用調査特別委員会で議論する。

②定住促進のあり方

～みんなで作る 住みやすいまち～

参加者より	議会より
ペット数は15歳以下人口より多い。小学校跡地のドッグランとしての活用や、ペット同伴できる避難所など、ペットと住みやすいまちというPRで移住が増えるのでは。	新しい視点です。どのような方法がいいか具体的には分かりませんが、斬新なご意見と受け止め、検討していきたい。

厚生文教委員会

子育て支援のあり方 ～子育てしやすい環境づくり～

参加者より	議会より
放課後児童クラブの指導員不足について、どのように対応されるか。	指導員の有資格者が不足している。1教室で2人のうち1人は有資格者である必要がある。無資格者は県の研修を受ける必要があり、その費用補助を市に要望している。

参加者より	議会より
子育て支援センターにこない人の対応はどのようにしているか。	母子保健推進員のなり手が少なく、「すくすく」と連携し、保健師訪問等で対応している。

参加者より	議会より
児童館は、これからどうなるのか。	市の計画では、移設の方向である。

瀬戸内三原 築城450年事業の成果と課題

～これからの三原市の観光について～

経済建設委員会

市民学芸員制度について	
参加者より	議会より
制度が1月で終了した。継続できないか。	十分な把握ができていない。確認してみる。
学芸員がまとめたものは、貴重な三原の資料であり、財産であるが、保管されたまま公開されていない。活用してもらいたい。	三原には宝が多くあるが、活かされてない。450年事業を契機に、これからの繋げていくための対応が必要である。

観光施策の協力体制や情報発信について	
参加者より	議会より
動きがバラバラに感じる。地域資源を最大限活用するには、連携プレイが必要だ。	市内に3つある観光協会の1本化についても賛否があるが、建設的に議論していきたい。
関係部署の意見交換の機会が必要だ。	定期的に行っている。
県立大学の若者と連携して情報発信を。	若者の発信は魅力的であり、検討していきたい。